

事業計画書(その 1)

<p>団体の目的</p> <p>中庄地区周辺の倉敷音頭にも唄われた旧帯江銅山跡地のツツジ山を復活させる活動を通して、市民の交流を活性化する。</p>
<p>事業の分野</p> <p>保健，医療又は福祉の増進 √ 社会教育の推進 √ まちづくりの推進 √ 観光の振興 農山漁村又は中山間地域の振興 √ 学術，文化，芸術又はスポーツの振興 √ 環境の保全 災害救援 地域安全 人権の擁護又は平和の推進 国際協力 男女共同参画社会の形成の促進 √ 子どもの健全育成 情報化社会の発展 科学技術及び学術の推進 経済活動の活性化 職業能力の開発及び雇用機会の創出 消費者保護 団体の運営又は活動に関する連絡，助言又は援助</p>
<p>事業の概要</p> <p>ツツジの花を中庄いっぱい咲かせ、潤いと安らぎの豊かな町づくりを目指す。</p>
<p>社会的背景と解決しなければならない課題</p> <p>倉敷市中心市街地近郊は、急速に都市化が進み地域コミュニティが失われつつあり、様々な課題が生まれてきている。</p> <p>この様な状況の中で「ツツジ山」の復活は地域の人々に楽しく取り組みやすい目標となる。</p> <p>老若男女にかかわらず手軽に取り組み、作業を通じた人と人のつながりが期待できる。</p> <p>将来的には倉敷市の観光資源になり経済の活性化につながる、との背景の理解。</p>
<p>受益者の範囲</p> <p>中庄地区を中心に、旧帯江銅山を取り囲む一体（庄、福島、菅生、帯江、豊洲等）の人達や倉敷市民を勇気づける。</p>
<p>事業の成果</p> <p>実施する各種の事業に多数の方々が集結し、ツツジの苗木育成、周辺地域の美化、更に環境整備等、「住みよいまちづくり」にも貢献する。</p> <p>また美観地区、鷲羽山に続く倉敷の観光資源として、地域への愛着や、仲間作り意識の向上にも役立つ。</p>
<p>事業の目標</p> <p>(1) ツツジの苗木の育成(年 1,500 本/20 名以上)、植栽(年 300 本)を目標。 (2) 毎年、春に写真撮影会及び展示会を開催、秋に講演会を実施。 (3) ツツジの植栽活動を通じて、地域の自然とのふれあいを高め、環境美化に貢献する。</p>

事業計画書(その 2)

事業の詳細

- 1、ツツジの種採取(4月・11月)
旧帯江銅山跡地 参加・合計 100 名以上
- 2、種撒き・栽培講習会(4~7月/2回、10~3月/3回)
倉敷北公民館、他 参加・毎回 20 名以上
- 3、第 3 回写真コンテスト(一般)・写生会(児童)(4~5月)及び展示会
倉敷北公民館、市役所他、 参加・毎回 30 点以上
- 4、先進地域(天目山・弥高山)の研修会見学会実施
天目山・弥高山等の訪問、 参加・会員 10 名以上
- 5、第 3 回講演会(ツツジや帯江銅山関係について)(10月)
倉敷北公民館大集会室 参加・50 名以上
- 6、ツツジ種の配布推進(通年)
会員の周辺地域から(合計 20 名以上) 年間・1,500 本以上
- 7、苗木の配布と植栽相談(9月~11月)
小学校・中学校・幼稚園・神社・町内・公民館等
参加・各箇所 50 本以上
- 8、広報の推進(各行事実施期間)
報道機関(TV・新聞・フリーペーパー・広報誌)との協力や
SNS、ホームページ作成により活動の紹介や案内を実施。
- 9、事業遂行の組織の見直し
代表者や遂行責任メンバーに集中している事業の遂行業務を、
主要会員に振り分けてメンバーの自立を促すために、
組織の見直しをする。

以上の事業について、月 1 回(第 3 金曜日)の定例会で打ち合わせ
推進していく。

受益者負担

徴収する ・ 徴収しない

事業計画書(その 3)

事業の見通し

本プロジェクトの可能性を少人数で確かめてきたが、4 年を経過して、
 鉾山跡からツツジの採種と苗木育成に成功し、かつての鉾山跡に建つ
 倉敷自動車学校を始め、中庄小学校の児童に 100 鉢を贈呈、現在校庭で
 50 鉢近く育ており約 50%の植栽率となり、継続実施により、
 今後 2 ~ 3 年後には開花、移植が推進できると見込まれる。
 また、本年 5 月のツツジ山写真コンテストも予想以上の出品があり、
 10 月の講演会にも多数の地元の方々の参加をいただき、
 いろいろな活動についても新聞にも紹介されこの事業の関心が高まった。
 今後は、苗木の育成に力を注ぎ、同時に中庄周辺の様々な場所への
 植栽（今年度は自然に帰す移植場所の詳細選定の予定）への期待が
 大いに広がると期待している。

27 年度の市民企画提案事項の「目標」と「行動」の確認・・・別表(1)

団体の能力の活用

この活動を通して、見知らぬ人との交流の輪が広がり、植物の生態や
 植栽の技術の交流が進み、新たなコミュニティの動きが生まれ始めている。
 また、小学校などの児童の取り組みにより、若い人たちの協力と
 新しい視点での地域のまなざしも変化が表れている。

他団体等との協力

町内各種団体と連携していきたい。
 中庄小学校・倉敷自動車学校・熊野神社などとはすでに連携を始めているが、
 今後は、特に「旧帯江鉾山」付近の民家や商店、町内会、企業などにも
 範囲を広げて行きたい。

行政との協働 自主事業部門の団体は記入不要

主となる部署名() 主部署の同意(あり・なし)

その他の部署名(,)

協働する部署との協議

月 日(内容:)

月 日(内容:)

月 日(内容:)

協働する部署の役割

27年度の市民企画提案事項の「目標」と「行動」の確認・・・別表(1)

「提案団体名」

ツツジ山再生プロジェクト

「目標」

12月1日時点で、ツツジの育苗をおこなう仲間が20名以上増えること
(小学校、熊野神社、倉敷自動車学校、等30名が育苗中...達成率150%)

「行動」

- 1) 帯江銅山跡に残るツツジの採種を秋に開催する100名以上の参加を目指す。
(12月18日に実施予定)
- 2) 播種・栽培の講習会を毎月開催する、毎回20名以上の参加を目指す。
(3月20日～播種講習会実施、ツツジ幡種スタート)
(栽培講習会・・・2回実施、4月17日及び、12月以降に実施予定)
- 3) 先進地域(天目山・弥高山)の研修見学会を開催する。
(4月2日に児島通生・通生園に見学会実施・・・8名)
- 4) 第2回ツツジ写真コンテストと展示会を開催する30点以上の申し込みを目指す。
(3月初旬からチラシ配布開始、4月17日展示会の件新聞発表)
(6月6日、審査会実施・・・31点の応募写真)
(7月5日～8月5日迄、北公民館でコンテスト展示実施、7月7日表彰式)
(8月31日～9月3日迄、倉敷市役所で展示会開催・・・観覧者223名)
- 5) 第2回ツツジ講演会を10月に開催する、50名以上の参加を目指す。
(9月初めチラシ配布開始、講師・・・岡山理科大学波田学長)
(10月3日に第2回講演会を開催・・・参加24名)
- 6) 幼稚園・小学校と交渉し、一般・児童の写生会を開催する。
(11月以降に実施予定)
- 7) ツツジの苗木を地域の主要な場所に寄贈する、5か所50か所を目指す。
(10月25日第5回倉敷自動車学校・・・苗50本)
(11月2日に中庄小学校に苗木贈呈・・・苗120本)
(12月に熊野神社に苗木贈呈予定・・・苗50本の予定)

予算書

(収入の部)

(単位:円)

項目	金額	内容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	25,000	参加費 500 円 × 50 人
会費からの繰入金		
その他	5,000	市民・企業からの寄付
市補助金	207,000	230,000 × 0.9 = 207,000
合計	237,000	

(支出の部)

(単位:円)

区分	項目	金額	内容
経費 (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	5,000	会員交通費他
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	0	
	謝金 (講師等に支払うもの)	60,000	写真コンテスト講師料&講演会 6回 × 10,000
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	30,000	講師旅費 3回(遠) × 8,000 ・ 3回(近) × 2,000
	消耗品費	60,000	鉢・培養土・肥料。会議用資料作成費等
	印刷製本費	60,000	会報・チラシ・レジメ
	通信運搬費	10,000	郵送費他
	保険料	0	
	使用料, 賃借料	5,000	
	委託料	0	
	小計	230,000	
経費 (対象外経費)	報償費・人件費	0	
	食糧費	2,000	講師お茶代
	その他	5,000	
	小計	7,000	
合計	237,000		

(記入上の注意)

団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。
 実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
 内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)
 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。